

平成26年6月27日

関西国際戦略総合特別区域地域協議会事務局

「関西イノベーション国際戦略総合特区」の区域が追加
～関西からイノベーション創出をさらに加速していきます～

「関西イノベーション国際戦略総合特区」が平成23年12月に特区指定を受けて、約2年半が経過いたしました。全国には7つの国際戦略総合特区がありますが、関西はこれまでに、全国最多となる46プロジェクトが計画の認定を受けています。この度、関西がめざすイノベーションや新産業の創出に向けて、新たに区域を追加することになりました。

このため、昨年10月の区域変更に加えて、今年5月に内閣総理大臣に区域変更の申請を行い、今般、6月26日付で認定を受けましたのでお知らせいたします。

今回は、移転が予定される独立行政法人 国立循環器病研究センターを核とする医療クラスター（大阪府吹田市 吹田操車場跡地の一部）が、最先端の医療技術開発や「循環器病の予防と制圧」のための拠点として、また、住友化学株式会社（大阪市内）が、核酸医薬品の研究開発・製造拠点として、区域追加の認定を受けました。

新たな区域を追加した総合特区の活用により、関西の持てる力をさらに発揮し、オール関西でイノベーションの創出とその事業化、産業化を加速して我が国の成長に貢献してまいります。

- ・平成25年10月までに指定された面積（区画数） 約6,491ha（53区画）
- ・新たに指定された面積（区画数） 約6ha（2区画）



合 計 約6,497ha（55区画）

【添付資料】（別紙1）追加区域一覧、（別紙2）全域図（区域追加後）

本件問い合わせ先：関西国際戦略総合特別区域地域協議会事務局

西川・石川・河合 TEL（06）4803-5557

以 上

関西イノベーション国際戦略総合特区の追加区域一覧

No.	地区	追加する区域の範囲	追加する区域の概要	実施事業の概要	特区事業の推進効果
①	北大阪	大阪府吹田市 吹田操車場跡地の一部の区域【移転後の(独)国立循環器病研究センターを核とする医療クラスター】	オープンイノベーションによる最先端の医療技術の開発に加え、「循環器病の予防と制圧」の拠点	<ul style="list-style-type: none"> i) 発症予防・重症化予防(先制医療)の実施 ii) 医薬品・医療機器等開発のための臨床試験の実施 iii) 成果の事業化・知財管理等 iv) 海外からの患者・研究者の受入れや海外の医療技術者へのトレーニング等 v) 健診、食、フィットネス等予防医療・健康関連産業等の集積 	「循環器病の予防と制圧」に向け、医療クラスターを形成し、先進医療の研究開発や医薬品・医療機器等の輸出を進めることにより、医薬品産業・医療機器産業の国際競争力の強化に寄与する。
②	北大阪	大阪市の一部の区域【住友化学(株)敷地内】	高付加価値を生み出す革新的医薬品の創出と実用化に必要な高度技術を有する研究開発拠点	難病や希少疾患を治療することができるグローバルスタンダードとなるような高品質の核酸医薬品の生産技術基盤(GMP生産、GLP生産)を確立する。	核酸医薬品の最適化研究および臨床試験に必要な高品質の原薬を迅速に製造し、核酸医薬品の実用化を加速させて、世界に通用する医薬品の創出を行うことにより、医薬品関連産業の国際競争力の強化に寄与する。

関西イノベーション国際戦略総合特区 全域図



■ 平成25年10月までに指定された区域 面積 約6,491 ha
■ 今回追加する区域 面積 約6 ha 計6,497 ha

追加区域① (北大阪地区)
大阪府吹田市 吹田操車場跡地の一部の区域
(移転後の(独)国立循環器病研究センターを核とする医療クラスター)

追加区域② (北大阪地区)
大阪市の一部の区域
(住友化学(株)敷地内)

